

1 目的

(1) 宝小学校区にある七宝町遠島地区の伝統工芸品七宝焼の制作や学習を通して郷土の伝統工芸のすばらしさを理解するとともに、郷土を愛する気持ちを育てます。

6年生の卒業時には、卒業制作として七宝焼の共同作品を作り、校内に展示することで、卒業後も母校の伝統に誇りをもち続けます。

(2) 「道徳」「社会」「図画工作」「総合的な学習の時間」を中心にした横断的な授業を展開することで、郷土学習をより効果的なものとしします。

2 内容

(1) 【七宝焼体験】（3・4年）

3・4年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、七宝焼の歴史や制作の概要を学習しました。その後、3年生は銅素地で、4年生は白素地で七宝焼の小物づくりを体験しました。作品は七宝焼アートヴィレッジと校内で展示し、保護者・地域の方に見ていただきました。

(2) 【七宝焼学習会】（5年）

5年生が七宝焼アートヴィレッジを訪問し、七宝焼の制作過程を講師の方に教えていただきながら、「銅板打ち」と「銀線貼り」を体験しました。普段見ることができないバックヤードに保管されている作品も見せていただき、七宝焼への理解を深めることができました。

その後、遠島地区にある七宝焼の窯元の方のお話を聞き、伝統的な方法で七宝焼を制作する職人の方の技にふれ、話を聞くことにより、地域の伝統工芸に尊敬の念を抱くことができました。

(3) 【七宝焼教室・卒業制作】（5・6年）

地域の七宝焼文化クラブの方を講師として招き、5・6年生が、絵付け・釉薬のせ・焼成までの過程を体験しました。5年生は各プレートに個人作品を制作し、6年生は5年生での経験をもとに卒業制作として、共同作品を作り上げました。卒業制作の作品は卒業式後にアートヴィレッジでも展示し、保護者・地域の方に見ていただきます。



【令和4年度卒業制作】

3 評価

3年生から6年生まで、4年間継続して七宝焼を学ぶことで、七宝焼に興味・関心をもち、制作への理解を深め、卒業制作の作品作りに活かすことができました。また、七宝焼を制作する職人の方の話を聞き、作品作りを間近で見ることによって、職人の方が伝統工芸である七宝焼を継承していく思いを感じることができました。

4 課題

地域の伝統工芸である七宝焼の学習を通して学んだことを学年ごとにまとめ、次の学年の学習につなげていきたいと思ひます。また、学習を通して、地域の伝統工芸を大切にしていこうとする気持ちを育てていきたいと思ひます。

1 目的

- (1) 学習の中に様々な体験活動を取り入れ、地域の人々とふれあい・学びあうことにより、豊かな心を育てると共に、地域との連携を深め、コミュニティスクールの取り組みを進めます。
- (2) 外部講師を積極的に招聘して様々な立場の人たちとふれあうことで、幅の広い学習活動を展開し、児童のコミュニケーション能力を向上させると共に、自信をもたせ自己肯定感を高めます。
- (3) 校内現職教育等を計画的に進め、教師力を向上させ、学びの質を高めます。

2 内容

(1) 【なかよし班による異学年交流】（全学年）

1年生から6年生の異学年でなかよし班をつくり、金曜日のなかよしタイムでふれあう活動を行いました。おにごっこなどで遊んだり、スポーツ大会の種目ドッジボールの練習をしたり、児童集会で一緒に活動したりしました。温かい雰囲気の中で、1年生から6年生で交流することができました。

(2) 【宝っ子タイム】（全学年）

温かい人間関係づくりや対話的な学びを行う基礎として、ソーシャルスキルトレーニングと構成的エンカウンターの要素を取り入れた活動を行いました。

(3) 【小中連携】（6年）

・ 小中交流会（6年）

6年生が七宝北中学校を訪問し、小中交流会を行いました。中学生とともに、オーケストラの演奏を鑑賞し、会の途中でオーケストラの伴奏で中学生と一緒に「ビリーブ」の合唱をしました。今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、中学生との自作した弁当での会食は中止となりましたが、今後も中学生との交流を深めていきたいと思えます。

(4) 【防災教室】（1・3・5年）

あま市防災ネットの方を講師として、防災教室を行いました。緊急地震速報を聞いての身の安全確保から始まり、非常持ち出し品の説明、ゴミ袋でのカップ作り、食品用ラップフィルムを使用した応急処置の仕方など、話し合ったり、制作したりしながら、防災について学び合うことができました。

(5) 【ハッピートーク】（5年）

ハッピートークアカデミー協会の方を講師として招き、人との関わりに必要なコミュニケーションスキルについて学びました。「友達と仲良くなる言葉」「自分を好きになる言葉」「勇気が出る言葉」などを考える活動を通して、自己肯定感を高めるよい機会となりました。

3 評価

中学生、地域の方、外部講師の方など、様々な人との交流による体験活動や学習は、単学級の児童にとって豊かな心を育み、コミュニケーション能力を高めるとともに、自己肯定感を高めるよい機会となっています。

4 課題

これからも地域の方や外部講師の方を積極的に招いて、様々な人とふれあうことで、幅の広い学習活動を展開し、地域との連携を深め、コミュニティスクールの取り組みを進めていきたいと思えます。